

## 第60回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年1月29日（月） 13:00-15:00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長、関委員、永田委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、松本参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

上田課長

鈴木室長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

佐々木理事

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中宇宙科学研究所長

藤本副所長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構国際宇宙探査センター

山中国際探査センター長

小川部長

川勝プロジェクトマネージャ

杉田教授

東京大学

国立天文台

野村教授

4. 議事要旨

議題に先立ち、JAXAから、9月に打ち上げられ、1月20日に、ピンポイント着陸による月面着陸に成功したSLIMの現況について、JAXAの宇宙科学研究所から説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○ピンポイント着陸成功へのお祝い、脱落したメインエンジンの原因や着陸への影響、復旧した電源による今後の観測計画の見込み等について

(1) 宇宙技術戦略（宇宙科学・探査）に関する考え方（案）について

令和5年度内の策定を進めている、「宇宙技術戦略」について、宇宙科学・探査分野の考え方の議論を、前回に続いて行いました。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

- 今回の SLIM に関しても、大きな計画については、構想から紆余曲折を経るものだが、以前から技術を継承してきたことが大きい。また、JAXAから民間にどう移転していくかも検討しても良いのではないか。
- 探査をやるにしてもアンカーテナンシー（政府調達）について一定程度の見込みをつけておかないと、ついてくる民間企業もいなくなってしまう。そういった観点も必要になってくるのではないか。
- この他、宇宙物理、太陽系科学・探査、月面探査・開発、国際宇宙探査、地球低軌道等の各分野の個別技術に対する評価に係る意見交換を行いました。
- 今後、本日の意見も踏まえて、来月にかけて引き続き基本政策部会や宇宙政策委員会において議論を行っていきます。

## （2）その他

その他として、以下報告があった。

- ・ Starlink 等の大規模衛星コンステレーションが天文観測に与える影響と国際動向について（国立天文台より）
- ・ 観測ロケット実験最新の成果概要について（JAXAより）

以 上